

# 幕張新都心モビリティコンソーシアム 自動運転WG (第4回) 議事要旨

---

- 1 日時 令和3年12月22日(水) 10:00~11:00
- 2 場所 オンライン開催
- 3 出席  
アイサンテクノロジー株式会社  
イオン株式会社  
株式会社NTTドコモ千葉支店  
MS&ADインターリスク総研株式会社  
京成バス株式会社  
京セラコミュニケーションシステム株式会社  
株式会社建設技術研究所  
株式会社JTBコミュニケーションデザイン  
損害保険ジャパン株式会社  
ダイナミックマップ基盤株式会社  
ビー・トランセホールディングス株式会社  
三ツ矢エミタタクシーHD株式会社  
千葉市
- 4 議題
  - (1) 中間まとめ報告の振り返りについて(京成バス(株))
  - (2) 今年度の自動運転実証実験について(京成バス(株)、損害保険ジャパン(株))
  - (3) 実用化に向けての検討事項について(千葉市)
- 5 配布資料
  - 資料1 中間まとめ報告について
  - 資料2 今年度の自動運転実証実験について(非公表)
  - 資料3 実用化に向けての検討事項について

## ■議事内容

### 1. 開会

### 2. 議題

#### (1) 中間まとめ報告の振り返りについて

京成バス株式会社より、資料1に沿って説明。

#### (2) 今年度の自動運転実証実験について

京成バス株式会社及び損害保険ジャパン株式会社より、今年度の自動運転バスの実証実験の概要について説明。

### (3) 実用化に向けた検討事項について

千葉市より、資料3に沿って説明。

#### 【主な意見】

- ・2025年度を目途に実用化を目指すとする、課題の多い海側より山側が現実的に感じる。
- ・急ブレーキに因る車内の転倒事故への対応等、通常有人で対応すべき事象など技術的な課題も多い。
- ・国のロードマップと合わせての実用化に関しては、情報を連携しつつ可能な限り援護できれば。
- ・自治体によるインフラ整備について、サービスロボットの観点でも活用したい。
- ・サービス事業の視点では、自動運転は24時間走行が可能で様々なニーズが拾えるものと認識している。病院などへの需要といった採算性の検討も重要だが、一方で移動を担保することでの総合的な価値の創出として検討すべき。

## 4. 閉会